

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第67号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F
TEL045-633-5142 FAX045-633-5194
Email:iguren@kanagawa-iguren.com http://www.kanagawa-iguren.com

神奈川産業振興センターの発足

芝 忠

4月1日付で「**神奈川産業振興センター**」が発足しました。神奈川中小企業センターと神奈川県産業貿易振興協会(神産貿)が合併して新組織になりました。私自身は13年前に県機関から神奈川中小企業支援財団に移り、その後、中小企業センターへ。中小企業センター自身も県の商工指導センターや情報センターの吸収などの変遷がありました。私は従来より今回の統合についてはあってもいいと考えていました。「神産貿」が展開する**国際化支援**は、今や中小企業の特異な活動分野ではなく、普通のこととなってきました。従って中小企業センターの各部の活動範囲においても、海外活動との関連は必要不可欠なものとなってしまいました。中国への下請加工の相談や、ベンチャー企業の商売相手が最初から海外であるとか、ジェットロを通しての情報収集だとか、交流事業における海外交流とかです。

過去、異グ連が展開してきた海外関連事業は、基本的に「神産貿」が対応出来なかったため、「やむを得ず」異グ連が引き受けて開始した理由が過半です。韓国についても京畿道以外は難しいという中で、オール韓国相手に異グ連は奮闘してきました。3年前に突然、韓国京畿道側から県の経済交流班を通して申し入れがあり、スタートした京畿道交流は、従来の行政同志の姉妹提携関係に対する何らかの反省から、韓国側として交流関係の再構築を目指したものと考えられます。

中小企業センターが海外交流に対応する事に消極的だったトップの理由は、それは「神産貿」の担当だ、ということでした。しかし今回の統合により、障壁はなくなりましたが、今度は態勢上の出来ない理由を無くさなければなりません。以前、新たな国際交流の要望を受けて、「神産貿」へ相談に行ったとき、国際交流を支援するコーディネータが少なく、とても国別に展開するのは不可能だという見解をいただいたことがあります。事情は分かりましたが、我々も潤沢な予算と人員でやっているわけではありません。中小企業者自身のやる気を前提に献身的コーディネータが頑張っている状況です。

「神産貿」のもう一つの部門は**販路開拓支援**ですが、お馴染みのテクニカルショウの開催など異グ連とは永年の付き合い部門です。こちら「販路開拓」という中小企業の最重要課題にどのように対応していくのかということになります。異グ連も新たに販売促進部門を設けるなどの努力をしていますので、提携が楽しみです。

以上のように統合で全体規模は大きくなりますが、個々の中小企業者に対する具体的・実践的かつ親切丁寧な仕事を心掛ける必要があります。職員同志の交流により、仕事の相互持ち合いに大きく発展させるよう期待します。

補足：ビル名は従来通り「神奈川中小企業センター」です。

産学官交流サロンのコーナー

おなじみ尾上町サロン

日時：毎月第一・三金曜日(4月18日、5月2日16日) 会場：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所
連絡問合：神奈川異グ連事務局芝、島津龍男、八幡、鈴木 045-633-5142 会費：現物も大歓迎

第14回西湘サロンの開催案内

日時：2008年5月12日(月) 18:00~20:30
場所：あいおい損保小田原支社(瀬戸ビル) 3F
話題：中小企業と税務
関東学院大学法学部教授 阿部 徳幸氏
参加費：1000円(ビール、おつまみ付)
申込：島津俊、吉池、芝 tel 045-633-5142

第26回三浦半島経済人サロンの開催案内

日時：2008年5月15日(木) 18:00~20:30
場所：神奈川新聞社横須賀支社 5F会議室
話題：わが町のシティ・セールスプロモーション戦略
三浦市経済振興部 若澤・営業開発課長
参加費：1000円(ビール、おつまみ付)
事務局：八幡 045-633-5142、鶴野 045-836-6785

第13回(3月10日)西湘サロンの報告

吉池正樹 BC

今回はテーマ「**災害に備えて雨水の生活利用**」で有限会社明治花プロ代表取締役社長 川崎 弘氏のお話を聞きました。当社は、自然にやさしい環境への貢献を目指したエコビジネス企業で、花、観葉植物の販売・レンタル、家庭用園芸用有機肥料の製造・販売、雨水貯留・浸透施設の販売等幅広く行っています。震災時一番困るのがトイレの水で、初めの3日位を乗り切ることが肝心だと言われているそうです。当社はこれにも耐え、また普段の散水、洗車用水等に利用できる1~30立法メートル規模の雨水貯水槽を手頃な値段で提供しています。この後引き続き、取締役牛尾氏に当社「屋上外断熱緑化システム」についてもお話いただきました。

お断り！

「かわさき経済人ネットワークサロン」、「神奈川新産学交流サロンよこはま」は新年度の体制や推進計画を関係機関と調整中ですので、決まり次第お知らせいたします。

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況**まんでんプロジェクト**

千田 JASPA 取締役

- まんでんプロジェクトが昨年度経産省から助成を受けて調査研究した、航空宇宙分野でのITによる取引、共同加工などのネットワーク「まんでんEDI」システムの構築を、来年度の中小企業経営革支援助成事業助成に応募することを決め、COXECとの協議を開始した。
- 本年10月1日～5日にかけてパシフィコ横浜で開催される4年に一回の我が国最大の国際航空宇宙展「2008年国際航空宇宙展」**では、産官学連係コーナーが特設され、まんでんプロジェクトを初め全国の地域コンソーシアムやJAXA、早稲田大学が出展するが、併設する出展者セミナーにおいて産官学連携をテーマに、10月1日午後が割り当てられた。その企画立案を主催者の航空宇宙工業会から依頼された。海外、国内、大学などによるプレゼンテーションを企画中である。
- これまで興味を示していた新潟市が航空機産業の支援に具体的に踏み出すこととなり、上記展示会に出展する計画である。なお、上記展示会出展は当初の予想を超えて出展希望が大変多く、関心の高さが窺われる。
- 三菱重工業は、3月28日の役員会で中型航空機国産化（所謂MRJ）の実施を決定した。これまで下請けに過ぎなかった我が国航空機産業が40年ぶりに自主的に開発、製造、販売、保守を行うこととなり、これまでとは様子が一変するとともに、新たな課題が山積することとなる。まんでんプロジェクトにも多大の影響があるものと思われる。

第84回日韓ビジネス協議会（総会）開催案内

高橋導徳BC

第84回の定例会はH20年度の総会となります。是非多数のご参加をお願いいたします。

1. 日時：4月23日(水)・・・15:300～17:10総会、17:15～懇親会
2. 場所：神奈川中小企業センタービル 5階 会議室
かながわ異業種交流センター（異業種グループ連絡会議）TEL：045-633-5142
3. 総会次第：
一号議案（2007年度報告）、二号議案（会計報告）、三号議案（会則、役員改選）、四号議案（2008年度活動方針など）
基調講演：「我が起業家人生」・・・アッシュインターナショナル.Inc 代表取締役 建入ひとみ氏
4. 会費：1000円です。
関心ある企業の参加者を歓迎致します。
連絡申込先 TEL&FAX：045-311-0094高橋迄 MAIL：mtakahas@tb3.so-net.ne.jp

第83回日韓ビジネス協議会（3月26日）報告

高橋導徳BC

- 「NPOたくみ21」の紹介・・・(財)神奈川中小企業センターBC 荒直孝氏
- 発足3年間経過、福祉用具関連企業が中心で販路開拓、製品開発、製品評価などの仕事を進めている。福祉用具の多くは利用者一人ひとりの要望をもとに創意工夫し、実用化に向けてのための活動を行なっている
- 第7回韓国商品展示商談会について・・・事務局
- (社)韓国貿易協会東京支部が毎年開催されている「韓国商品展示・商談会」で4月9、10日東京都都立産業貿易センターで開催。電気、電子、IT、美容、健康、農水産食品の企業116社が来日した。
- 日韓企業の産業連携と将来・・・日本サムスン(株) 顧問 石田賢氏
- 韓国企業の特徴、成功要因、限界などについて理解しやすく説明された。「6大新創設事業」のロボット、プリンター、バイオ・医療、エネルギー、システムLSI、WiBroなどが中心である。
- メイン講演：「5年後に生残るために、今打つべき手」・・・安東社会保険労務士事務所 代表 安東弘勝氏
- 現状の認識、将来の展望、組織の統率、リスク管理、伝承、事業推進力などが全て機能することで成功する。5年後向け、事業継続の方向性と戦略・・・本業力、想像力、後継者の育成、ハッピーリタイアが出来るか？将来の業界の方向と自社の姿を予測、今何をすべきか！集中と選択が重要である。

<p>シフト21活動状況</p> <p>有村BC</p>	<p>スターリングエンジン研究会</p> <p>八幡敬和</p>
<p>「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会を開催しております。(原則第二火曜日開催、場所はかながわ県民センター)</p> <p>4月定例会は、「オンラインゲームやインターネットコミュニティの現在と未来」について株式会社ハイファイネット代表取締役三並慶佐氏にお話をお伺いいたしました。益々広がりを見せているインターネット、特にオンラインゲームやミクシィに代表される SNS コミュニティについてわかりやすくお話いただきました。</p> <p>5月18・19日に視察研修会(伊那食品工業株式会社)を予定しています。</p> <p>シフト21ではゲストの皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。(arimura-c@nifty.com)</p>	<p>当研究会をNPO法人とすることで、第一回の設立準備委員会を、3月27日開催した。名称は予定通り内閣府認定のNPO法人として、「日本スターリングエンジン普及協会」とし、手続きに入ることになった。理事長には、東京大学名誉教授の平田 賢氏を戴くことに決まった。</p>

関連イベントのお知らせ

<p>かながわ異グ連</p> <p>年次総会予告!</p> <p>日時: 6月25日(水)</p> <p>場所: 神奈川中小企業センタービル 13F 大会議室</p> <p>* 内容詳細は追ってご連絡いたします。</p>	<p>新年度の新たな試み かながわ異グ連会員交流セミナー</p> <p>従来、異業種グループの事務局同士の情報交換の場として、毎月「事務局会議」を開催してきたが、これを企業会員や個人会員にまで広げた交流の場として発展させた。第一回を次の日程で開催します。</p> <p>日 時: H20年05月14日(水) 14:00~17:00 以降懇親会</p> <p>場 所: 神奈川中小企業センタービル 6F 大研修室</p> <p>基調報告: 「わが社の経営と異業種交流」京浜産業(株) 代表取締役 酒匂雅信氏</p> <p>1時間ほど「最近の話題」「交流のあり方」などを議論いたします。</p> <p>問合せ申込: 神奈川異グ連 芝、八幡 045-633-5142</p>
--	---

<p>知的財産モラル先進都市宣言</p> <p>アジア知的財産フォーラム in Kawasaki</p> <p>日 時: 4月19日(土) 開場9:00</p> <p>午前の部: グローバルを見据えた知的財産による地域振興の課題~インカムヴァリューの視座</p> <p>田中康之氏 TBS編集局 細川 健氏 広島大学大学院准教授 隅蔵康一氏 政策研究大学院大学准教授 菊池純一氏 青山学院大学教授</p> <p>午後の部: 知財フロンティアの開拓と地域への期待</p> <p>相澤益男氏 総合科学技術会議議員</p> <p>各地域における取り組み報告</p> <p>韓国、中国、ベトナムなど</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>阿部孝夫氏 川崎市市長 翁長雄志氏 那覇市長 真柄泰利氏 マイクロソフト(株)専務</p> <p>会 場: 川崎市産業振興会館 参加費: 無料 申 込: 神奈川新聞社 川崎総局 044-222-6699</p>	<p>日本ベンチャー学会5月セミナー</p> <p>日本経済の担い手としてのシニアベンチャー ~その具体的成功事例による実現の可能性~</p> <p>日 時: 5月14日(水) 13:30~16:00</p> <p>プログラム「パネルディスカッション」</p> <p>堀井利修氏 (株)サンフォーレ 代表取締役 平野茂夫氏 (株)マイスター60 会長 坂井 廣氏 (株)ナンバーアイ 代表取締役 仲吉明治氏 (株)ジー・エフ 代表取締役</p> <p>会 場: 如水会館1F コンファレンスルーム 東京都千代田区一ツ橋2-1-1</p> <p>参加費: 無料</p> <p>問合せ申込: 日本ベンチャー学会シニアベンチャー研究会 月例会セミナーへ tel/fax 023-623-0910 で 氏名、会員/非会員、勤務先、連絡先 募集人員: 先着50名 主 催: 日本ベンチャー学会 同 シニアベンチャー研究部会</p>
--	---

<p>神奈川産業振興センター・ABC (ホルビジネコデイナー) 会議が開催された。</p>
<p>H20年度第一回ABC会議が4月14日開催され、上島専務理事よりビジネコデイナー30名に、一人ずつ委嘱状が手渡された。今年度のビジネコデイナーの支援事業は、次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、新規成長産業事業化促進(コンソーシアム)事業: 企業と大学、研究機関のマッチング及び事業化、商品化促進支援を行う。 2、新連携コーディネート事業: 連携規約の作成や事業計画作成の支援を行う。 3、知的財産戦略策定の支援事業: 知財や技術動向の調査・解析と知財活用戦略支援を行う。 4、産学交流サロン事業: 産学官の相互交流を促進する。活動はかながわ異グ連へ委嘱している。 5、中小企業技術革新制度の活用促進: 研究開発補助金(SBIR)申請支援

論壇

老いの働き～老人パワーをいささかでも社会のために使いたい～

C&S副会長 小林 巽

歳をとっても若い人には、まだまだ負けないと自負していますが、NPOの経理実務を引き受けて2年経過した現在、「負けない」という漠然とした気持ちが整理され、「老のはたらき」が自分なりに納得出来るようになったと思います。

コンサルタントでお世話になった方から、スポーツ関係のNPOの経理マンを至急探して欲しいとの依頼がありました。5月になっても3月退職者の補充がつかず、日常の出納業務もさることながら、決算業務も出来ない状態で困り果てているとのことでした。しかし、私にも適任者が見当たらず、決算が出来ないのでは問題ですから、昔とった杵柄で、さほど負担にはならないだろうと思って私が引き受けることにしました。

前任者の引継ぎがなかったので、帳票類の種類や内容などが分からずの中での決算業務（勘定科目の内容整理、仕訳見直し、監査対応等）は想像以上に大変でしたが、困ることはありませんでした。

しかし、日常業務の出納では、支払内容や勘定処理のチェック等の知的作業があるものの、補助簿作成のインプットや謝金支払のための領収書作成・袋詰め・両替などの肉体作業が多い。特にパソコンへのインプット作業は、会費集計業務（多い日には1日200件もある）も加わり、量的に多く、若い人に比べスピードが遅いため、効率的とはいえず、残業が慢性化しました。

そこで、昨年11月から女子派遣員1名を週2日願い、インプットを中心に作業してもらうことにし、私はチェック業務と今まで手に付かなかった経費管理や資金繰りに注力しております。

10年前の赤瀬川原平著「老人力」がきっかけとなって、老いの前向きな評価が広がりました。そして、本年3月6日の日本経済新聞（夕刊）の記事「老の役割って何？」で我が意を得た気持ちになりました。この記事で、シニア社会学会が「シニアから、52の提言」と題するハンドブックを発行し、「効率の尺度でシニア世代を測れば動きの速さや持久力が劣り、年をとった人はすべてアウトになる。効率とは異なる、人間の観点が欠かせない」として提言の一つに「Wメン」をあげています。

「Wメン」のWは英語のウオッチの頭文字です。定年退職者らが専門知識や経験を生かして企業の行動を分析・批判する監視人のことです。

監視人という言葉は強く響きますが、この趣旨を通して、私は支援する人、即ち、「助っ人」としてコンサルタントの業務をすすめ、「老のはたらき」に徹しようと思っております。 了

事務局のコーナー

交流の輪は身近にあり！

小野川

引きこもりでない限り、交流のチャンスは身近に多い。週1～2回通っているスポーツセンターでは、企業OBの方と知り合い、SCMが得意とのことなので、商工会議所のテクノプラザ事業への登録を勧めた。その後、企業とのマッチングがあり、サポートをはじめたとのこと。

もちろん4～5人の四季折々の花見ウオーキングの仲間も出来た。

山行や温泉に年2～3回同行いただく知人が、第三セクターの役員を退任する。ご苦労さん会の事務局を引き受けたが、70人ぐらいの参加申込があった。貴重な交流の場になりそうである。自分も事務局と司会で名前を覚えていただき、何かの時の財産になりそう楽しみである。

神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください（無料）

【月】 魚崎 誠也 村上 嘉男 【火】 八幡 敬和 児玉 英二 【水】 芝 忠 杉本 明子

【木】 八幡 敬和 松井 利夫 【金】 芝 忠 島津 龍男 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階神奈川県異業種グループ連絡会議事務局

t 045-633-5142 F045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> e-Mail: iguren@kanagawa-iguren.com

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。

神奈川異吉連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ！